

酪農宮崎

令和3年11月30日 印刷
令和3年12月1日 発行

編集人: 立山 行広
発行所: 宮崎市霧島1丁目1番地1
宮崎県経済農業協同組合連合会
電話(0985)31-2100
<http://www.kei.mz-ja.or.jp/>
印刷所: 宮崎市大字赤江字飛江田931
宮崎紙工印刷株式会社
電話(代)78-2324

みやざき産牛乳をみんなで飲もう!!
毎月1日は牛乳の日!

NO.601
2021年12月



「第63回 宮崎県畜産共進会」

12月号目次

酪農情勢報告	1	農学部ナンノ教授のひとりごと	9
ルーツを訪ねて!	2	全酪連広告	10
協和化学(株)広告	3	全農広告	
令和3年度 牛群検定指導員・酪農技術員研修会	4		
技術のページ(冬場のカゼ多発時期に備えて)	5・6		
らくのう川柳/串間酪農協畜魂祭	7		
牛乳料理/デーリィ牛乳広告	8		



MILK UP!
プロジェクト



経済連HP

酪農情勢報告

1. 生乳生産動向

令和3年11月15日現在

指定団体	10月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
北海道	344,093	103.6	2,421,174	102.7
東北	41,350	98.5	294,526	99.0
関東	85,501	102.8	612,759	102.8
北陸	5,983	101.8	42,921	101.7
東海	26,606	102.6	189,754	101.5
近畿	12,187	102.9	86,967	103.8
中国	24,278	99.7	172,642	101.7
四国	8,755	99.5	62,038	100.3
九州	48,539	101.1	347,846	101.2
(内、宮崎)	5,706	101.3	41,154	99.0
都府県	253,199	101.3	1,809,452	101.6
合計	597,292	102.6	4,230,626	102.2

2. 販売状況

令和3年11月15日現在

用途	区分	10月(トン)	前年比(%)	累計(トン)	前年比(%)
飲用牛乳	全国	283,031	98.7	1,920,807	98.3
	九州	36,411	100.7	252,278	101.1
はっ酵乳等	全国	38,241	98.3	273,827	96.9
	九州	7,166	97.3	51,406	98.8
特定乳製品	全国	129,381	112.5	1,025,221	109.0
	九州	2,376	123.8	27,190	104.9
生クリーム	全国	110,701	101.0	756,767	104.5
	九州	2,491	102.3	16,303	104.9
チーズ	全国	35,939	113.8	254,004	106.9
	九州	96	99.3	669	107.8
合計	全国	597,292	102.6	4,230,626	102.2
	九州	48,539	101.1	347,846	101.2

(小数点以下の四捨五入等で合計が一致しないことがあります)

3. 生乳出荷量別生産者戸数 10月

生乳出荷量	戸数
100 t 以上	4戸
80 t 以上 ~ 100 t 未満	5戸
60 t 以上 ~ 80 t 未満	7戸
40 t 以上 ~ 60 t 未満	24戸
20 t 以上 ~ 40 t 未満	70戸
10 t 以上 ~ 20 t 未満	61戸
10 t 未満	28戸
合計	199戸
最高出荷量	183t/月
平均出荷量	29t/月

4. トピックス

生産抑制について

先月発行しました酪農宮崎11月号において、生乳処理不可能乳回避への緊急提言について記載しましたが、九州としての取組みが具体化されました。九州としての酪農家の皆様にご協力要請させていただく内容は、年末年始の12月21日～1月10日までの21日間の生産量を抑制していただくことになります。年末年始の処理不可能乳の見込み乳量は全国で5,000t、九州で420tと試算され、この数量の抑制をお願いすることになります。九州においては、生産抑制のための早期乾乳や出荷予定牛の繰上げ出荷などの取組み手法は問わず、抑制された乳量に応じて対策金をお支払いするものになります。詳細は、各JA担当者へ説明を行いますので、JAもしくは経済連担当者へお問い合わせください。

年末年始の生乳処理不可能乳の発生の危険性もありますが、コロナ禍による需給緩和に伴う乳製品の過剰在庫問題も抱えております。そのような中、九州酪農政治連盟が、自由民主党九州酪政会へ乳製品在庫解消に関する要請を行いました。

要請内容は、大きく5項目として①酪農業界が一体となって取組む乳製品在庫削減対策への支援及び国産乳製品需要拡大緊急対策事業の継続、②外国産乳製品の輸入数量の抑制、③人道支援につながる国産乳製品の輸出、④加工原料乳生産者補給金の弾力的対応、⑤年末年始・春休み期間の牛乳消費拡大への支援を要請しました。九州酪政会は、九州から選出された自民党議員の先生方で構成されており、政府への影響力も強く、直に酪農家さんの声を届けることで要請に対する反応も期待できます。酪農家さんもコロナ禍による乳価下落の影響を受け、さらには年末年始・春休み期間に負担を強いられるので、是非とも新政権が発足したこともありますので、早期に乳製品在庫解消にむけた対策を期待するところであります。

11月に入って鳥インフルエンザの発生が相次いでいます。酪農とは直接関係はありませんが、同じ畜産業界として、牛・豚・鶏の殺処分を経験したものとして他人ごとではありません。口蹄疫・豚熱等を含めいづどこで発生するかわからない、目に見えないから厄介です。自分は大丈夫と過信せず、常に防疫の徹底をお願いします。

一繰り返すその努力があなたの自信、あなたの儲けです—
酪農課 今井 弘高

ルーツを訪ねて！「老牧夫回想録」より（高橋照次著）

会員の構成並に出資額は次の通り

宮崎県	二、五〇〇万円
宮崎県酪連	一、五〇〇万円
宮崎県乳業協会	一、〇〇〇万円
畜産振興事業団	五、〇〇〇万円

計一億円の基金利息と検査料で運営

施設は国のモデル事業補助金 一、七〇〇万円を導入し、総事業費四、二〇〇万円でミルコスキャンその他を整備した試験室、事務室、小会議室等より成っている。

役員は県、県酪連、乳業協会から選出し、その下に会員の実務担当職員から成る運営委員会を設けて業務の円滑を期している。

初代会長は此の協会の計画者でもあった高橋照次、常務は県職出身の神谷誠優、職員は県酪連から出向職員を以て充てた。この協会事業は(一)日本農林物資規格法に基づく生乳の格付け、(二)食品衛生法に基づく省令に準ずる生乳検査、(三)生乳の品質改善取引公正化のための検査及び指導、(四)生乳に関する調査研究、その他である。

この協会は五十四年三月から事業を開始したが、この協会の設立運営こそは先に整備した緊急乳質改善施設を一応完成し得たので、生産者代表等から成る販売員会の積極的賛同を得た上で全国を驚倒させた強烈なる乳質格差を発表し、五十四年度から実施して、遂に宮崎県産乳質を全国第一位に押し上げ、四十六年天皇杯受賞時の腹切り問答の約束を実現したのである。

今まで自ら役職を求めることを慎んで来た私が敢てこの協会だけは酪連会長を差し置いて自ら会長に就任したのも、残り少なるかき自分の現役生活のうちに、何としても県産生乳々質の日本一実現を果たしたかったためである。

⑤生乳輸送ローリーの海難事故

九月六日、前日来、九州の指定団体と酪政連の合同会議が熊本県玉名温泉で開催されていたが、早朝六時前に殿所販売課長からの電話で日本カーフェリーの瀬戸内海での衝突海難事故を知らされた。平常は四国沖を通るのがこのときは四国沖が荒れているため、瀬戸内海を通過して日向港に帰る航路を取っていた。幸い載積はないが、運転手の事故はないと云うので一安心、即座に「金はいくらかかってもよいから阪神送乳を絶対止めないようにせよ」と指示して、直ちに福岡に出て空路で漸く昼前に宮崎に到着した。遭難したタンクローリーは本会車輛四輛(五〇トン分)、九州牛乳輸送車二輛(二〇トン)、別に鹿児島県酪分のチャーター車一輛(一〇トン)、既に九州牛乳輸送宮崎営業所長、雪印都城工場原料課長、宮崎森永の原料課長も来て殿所課長と今後の輸送対策を練っている。代替車の手配、陸送か、別府からのフェリーともう一隻の日本カーフェリーの隔日運航の併用か、森永阪神や雪印関西は他からの代替受乳は可能だが中小乳業には必ずしもその方法は期待できない。

つづく



環境対策
除菌・消臭



100V仕様

デカタイヤ
で楽々移動



牛舎使用事例

冬場の加湿効果
夏場は暑熱効果



延長パイプ使用例
(オプション)

マイコ・サルモネラ



ネブライザー効果

細かい霧 4 ~ 5 μm
※細霧ノズルの約10分の1

オキシリンクSP専用

協和化学株式会社

動物用医薬品・畜産用資材・器材販売

〒885-0036

宮崎県都城市広原町32号7番地2

TEL (0986) 23-6661

FAX (0986) 23-7778

E-mail:kyowachm@poem.ocn.ne.jp

https://kyowachm.com

令和3年度 牛群検定指導員・酪農技術員研修会!

令和3年11月17日に牛群検定指導員・酪農技術員研修会を開催し、県内の検定員・酪農指導員を中心に総勢16名が参加しました。

(一社)家畜改良事業団 情報分析センター企画課 課長代理 佐藤綾子氏よりWEBにて「乳群の遺伝的改良について」講義が行われました。遺伝能力向上事業により検定員がSNP検査を行っていますが、遺伝能力の結果の見方や、活用方法についてご教授いただきました。

また、ラクトシステム株式会社代表取締役 三浦 司氏を講師としてお招きし、ラクトコーダ(電子乳量計)を使用した指導法について講演が行われました。宮崎県内については事業を活用し、6台のラクトコーダが導入されており、搾乳の波形や洗浄の状態について確認することができるため、この利用方法を学びました。これに併せ、小林市内の酪農家さんに、ラクトコーダを使用した検定をさせて頂き、実際に使い方やデータの見方について説明が行われました。

検定についてもさまざまな技術やデータが増えていますが、今回は特別な機器による検定方法が学習でき、参加者の皆さんにとっても有意義な時間になったと思います。参加者からは、「遺伝的改良が進むよう農家さんへ普及していきたい」、「実際にラクトコーダを使用できるようにがんばりたい」といった感想が聞かれました。

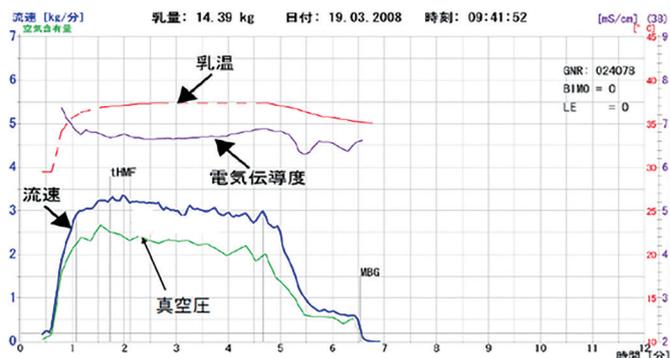
遺伝情報の活用や、搾乳の状態をラクトコーダで確認できるようになったことで、検定員がこれまで以上に価値のあるデータをお届けできるようになったと思います。

今後も検定農家の皆さんや指導者向けの研修会を計画し、牛群検定がより活用しやすいものになるよう努めていきます。

○研修会の様子 皆さん真剣に研修を受けています。



↑WEB研修



↑ラクトコーダで見れるグラフ

○実際にラクトコーダの検定が行われました。



↑検定での研修の様子



↑ラクトコーダ(電子乳量計)

では、飼養管理でこの呼吸器病を予防するにはどういったことに気をつければ良いでしょうか。その疑問に答えるために、我々 NOSAI宮崎では昨年、県下の呼吸器病で困っている農家さんを対象に網羅的な調査をおこないました。餌の種類や給餌量、血液検査、飼養密度、飲水の調査、発育調査など様々な飼養管理に関する要因を調査した結果、最も強く呼吸病コントロールに影響を及ぼしている要因はズバリ「餌」でした。哺乳中であれば当然ミルクになりますが、餌による栄養が充足(ミルクと粗飼料とスターターの給与バランスが良い)していると、一番事故率が低下することがわかりました。もう少し詳しくいうと、餌が十分食べられると栄養が充足し、アルブミン値といった蛋白系が増加し免疫が強化され、病気に強い子牛になるということが考えられました。また、獣医師がこの結果をもとに指導した内容も多くが餌に関する指導でこのことから餌の重要性が伺えます(図3)。月並みな結果かもしれませんが、やはり餌の重要性は言わずもがなだと思います(図3)。「1に栄養、2に栄養・・・」です。特に、冬場は気温が低くなることで体を維持するのに必要なエネルギーが増えます。幼齢牛では13℃以下になると維持エネルギーが増加します。-4℃では、通常と比べて要求量が32%も増加するという報告もありますので、冬場の餌の重要度はさらに高くなります。

具体的な冬場の給餌管理ですが、ミルクを冷やさず十分量与えるといったことや、栄養価が担保された粗飼料(購入であればソフトチモシーやオーツなど)の給餌、スターターの適切な開始タイミングの見直しなどです。一方、意外と見過ごされがちなのが、飲水の見直しも餌の食下量を上げるポイントになります。冬場であれば温水を飲ませることでグッと食べる餌の量が増えます。実施していない場合は是非検討してみてください。

(NOSAI宮崎 生産獣医療センター 出口祐一郎)



らくのう川柳

今月号の「らくのう川柳」は、次のとおりです。

みな様の「心の叫び」や「普段の思い」、そして、「こうありたい」が、この川柳の中に詰まっています。

堆肥ほど 乳量でると 嬉しいな

「がんちゃんさん」さんより

乳牛は 今夜も飽きずに イタリアン

「キング&プリン」さんより

コロナWを ロールに混ぜて ラッピング!

「小林のワクチン」さんより

消費者の 命まもるは 先ず牛の命から

「ポーター」さんより

牛乳で乾杯! 我が家のクリスマス

「ざんぶりこ」さんより

「ちょっと、いい話し!」 地域情報発信コーナー

専門酪農親善ミニバレーボール大会・畜魂祭 開催!

11月1日、専門酪農親善ミニバレーボール大会が開催され、仲間酪農協、関係団体の皆様と一緒に大会に参加させていただきました。試合は和気あいあいとした雰囲気で行われ、楽しい時間となりました。

大会後は、仲間酪農協にて畜魂祭が執り行われました。慰霊碑前で酪農家の皆様、関係団体の職員一同が、尊い命を捧げてくれた牛さんたちの冥福をお祈りしました。

牛さんたちへの感謝とともに、生命の尊さを改めて感じました。

J A宮崎経済連 酪農課 吉田 純平



牛乳料理の紹介

宮崎県産切り干し大根のカルボナーラ



団体職員 遠竹 彩華

<作り方>

1. 切り干し大根は水洗いしてボウルに入れ、牛乳で戻す。
2. 鍋に少量の油を敷いて、細切りにしたベーコンと冷凍ほうれん草を炒める。
3. 1を加え、ふたをして弱火で5分間煮込む。
4. スライスチーズとコンソメを加え、塩こしょうで味を調える。
5. 火からおろし、卵黄を加えて混ぜたらブラックペッパーをかけて完成!



<ポイント>

- 牛乳で戻すことで切り干し大根の栄養素を逃さず取り入れられます。
- パスタの代わりに切り干し大根を使っているのでヘルシーです。

<材料4人分の分量>

- ・牛乳 …………… 300ml
- ・コンソメ顆粒 ……… 小さじ2
- ・チーズ(とろけるスライス) …… 3枚
- ・塩こしょう …………… 少々
- ・切り干し大根(乾燥) …… 60g
- ・卵黄 …………… 2個
- ・ベーコン …………… 80g
- ・ブラックペッパー …… 適量
- ・冷凍ほうれん草 ……… 120g



bairy 南日本酪農協同株式会社

ミルクでつなぐ明日の笑顔

農学部 ナンノ教授のひとりごと

動物のトイレ事情

南野 快

前回まで交尾の話をしてきたので下(しも)つながり(?)ということで今回は排泄の話。お食事中的読者は食後にお読みください。

猫はトイレを覚えるのが犬よりも早いというが、気まぐれでいつものトイレを使わなくなるのもこの生き物の特長なのだろうか(猫の心と秋の空?)というのも、以前そのような経験をしたのである。11年前、私が半年間の在外研究期間を使ってカナダに滞在した際、一軒家を借りることになった。その家主はオンタリオ獣医科大学の私の共同研究者の同僚の教授で、私の滞在期間と時同じくしてやはり在外研究で別の大学に滞在するために家を空けることになった。そこで、私にその家を貸してくれるという話になった。但し、その教授が飼っている猫の世話をするという条件があった。私自身も学生時代に猫を飼っていた(大学卒業後、その猫は実家で飼われて19年生きた)ので、その条件は寧ろ嬉しいオファーであった。ところが私と一緒に暮らすようになって1週間が過ぎた頃から、いつものトイレではなく、その横(トイレの外)で用を足すようになったのだ。頻繁にトイレ掃除と砂の交換をしていたのだが、飼い主が変わったのが気に食わなかったのだろうか。本来の飼い主が恋しくなったのか。やさしく接していたのだが、私としてはショックな出来事であった。

ところで、ウ○チは決して汚いものではなく、忌避すべきものでもない。循環農法の観点でいえば堆肥になる自然の産物だ。獣医師や人工授精師は(手袋越しとはいえ)毎日触っているものである。仕事柄、顔や手に付いてしまうことも茶飯事だ。かつて、研究室の学生と附属農場での繁殖検診を終えた帰りのこと、ちょうど昼食時だったのでうどん屋に立ち寄った。さて、うどんを食べようとしたその時、女子学生が自分の手を見て「あっ、ウ○チが付いてる!」と、満員の店内で声を上げたのだった。これはその発言をした学生が悪いというよりも、仕事後のきちんとした手洗いを徹底できなかった教員である私が悪いのである(15年以上前の話なのでお許しを)。要するに、それくらい牛のウ○チは身近なものなのだが、可能ならもう少し扱いやすい形で排泄してくれると作業する側にとっては有難い。最近はやりのゲノム編

集技術で羊のようなコロコロしたウ○チをする動物に改良できないものだろうか?オーストラリアの有袋類ウォンバットは縄張りを示すために積み重ねられるようにサイコロ状のウ○チをするらしい。これなら掃除もしやすい。ウ○チの形を変えるのはすぐには難しいとしても、子牛にトイレのしつけができたという研究論文が今年9月に発表された。決まった場所で排尿したらご褒美に餌をあげ、失敗したら水をかけるという訓練をしたところ、10日間で過半数の子牛がトイレを覚えたという。これは人間の子供と同レベルの学習能力らしい。もともと、この研究目的は作業者の利便性というよりも糞尿をより効果的に回収して気候変動問題の解決に役立てようということである。

以上、丑年の締めくくりは牛の話題で終わることにしよう。2022年は皆さんにとってコウウンが付く一年でありますように!



ハノイ市内のホテルのロビーに飾られていたツリー。
3年前のクリスマスはベトナム出張中だった。
現地での大学間研究交流はそろそろ再開できるようになるだろうか?

初乳粉末製品

GOOD START PREMIUM

グッドスタート プレミアム 内容量 250g/袋

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有



和牛
にも!



Your Partner 全酪連

全酪連 福岡支所 南九州事務所

モーレット ダッシュユM

子牛の大型化に合わせた、
高タンパク・モネ入り・オールペレットえづけ飼料です

【製品の特徴】

①高タンパク：

子牛の大型化に合わせ、従来品よりも強化しました(CP21%)。

②モネンシン添加：

飼料中の栄養成分の有効利用を促します。

③オールペレットタイプ：

トウモロコシも全てペレット化し、子牛の採食性を高めました。



保証成分値

粗蛋白質

21.0%
以上

粗脂肪

2.0%
以上

粗繊維

10.0%
以下

粗灰分

10.0%
以下

カルシウム

0.60%
以上

リン

0.40%
以上

TDN

75.0%
以上

JAグループ

農協

全農

経済連

くみあい飼料